

平成 25 年 12 月 7 日

北海道支部競技会における 10mAR 副種目競技の出場人数制限について

日本学生ライフル射撃連盟 北海道支部
平成 26 年度競技審判委員長 佐々木進輔

近年の副種目競技者増加に伴い、従来通りの大会の運営が困難となる場合が想定されるため、平成 26 年度より副種目競技出場者に人数制限を設ける。なお副種目とは 10mAR3 姿勢競技、10mAR 伏射 60 発競技、10mAR 膝射 20 発競技とする。

対象となる競技会は春季北海道学生ライフル射撃選手権大会、夏季北海道学生ライフル射撃選手権大会、秋季記録会、最終戦・新人戦・引退戦とする。

競技会ごとに確保できる射群・射座の数は変わるため、仮エントリー段階で副種目競技者が、確保できうる枠を超えた場合にのみ、選考をかけ人数調整を行う。

選考方法について

事前に企画幹事に申請を行い練習会等において学連員立会いの下で副種目競技の点取りを行う。その際、標的は学連から支給し、点取り後に提出してもらう。審査機を用いて審査し、事前点取りで得点の高い射手から出場権を与えることとする。1 度点取りを行った点数は、その年度の競技会で選考をかける場合に用いることができる。

なお競技会での人数の上下に関わらず、副種目への参加を希望する射手は点取りを行うことを義務付ける。

以上